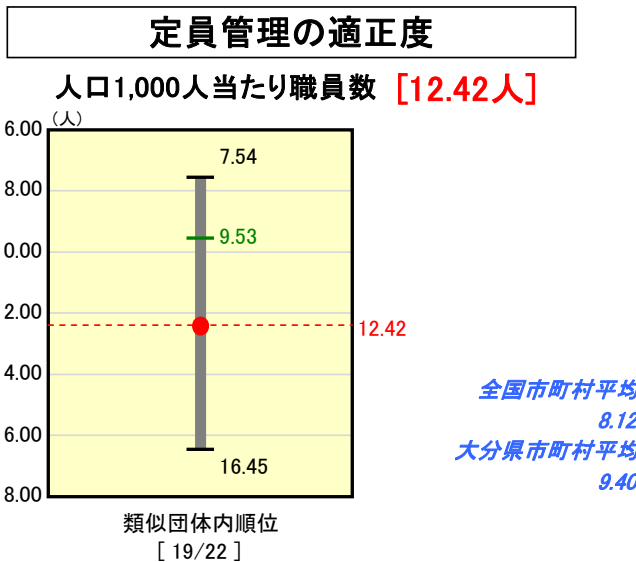
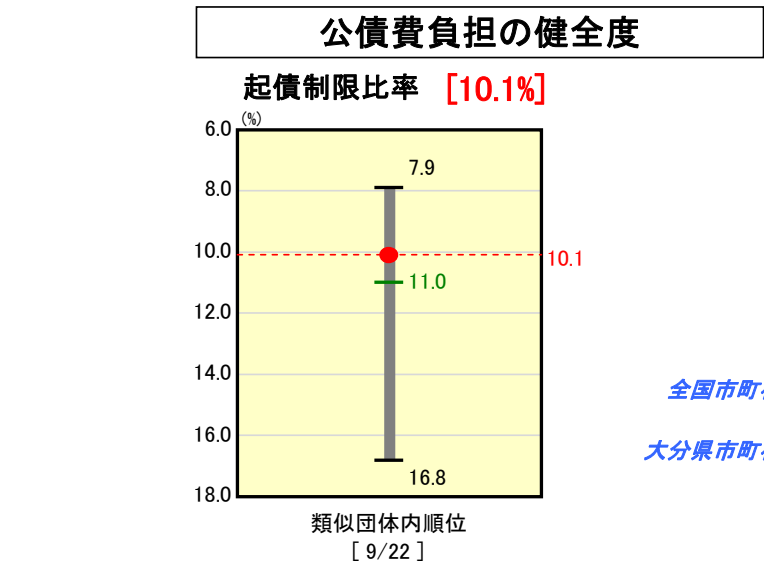
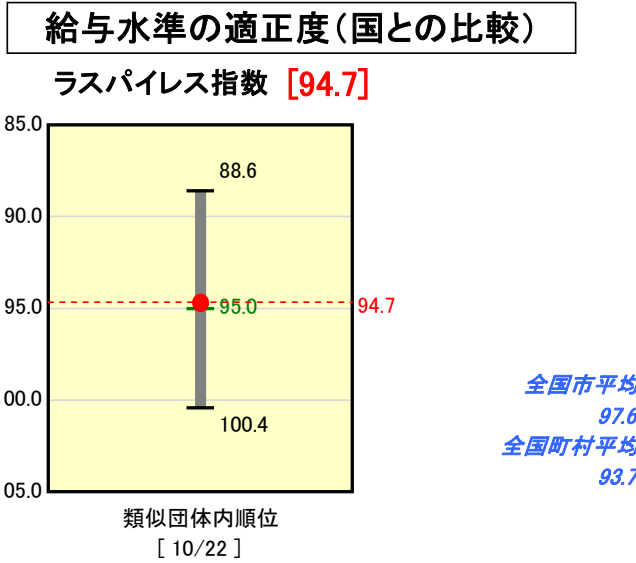
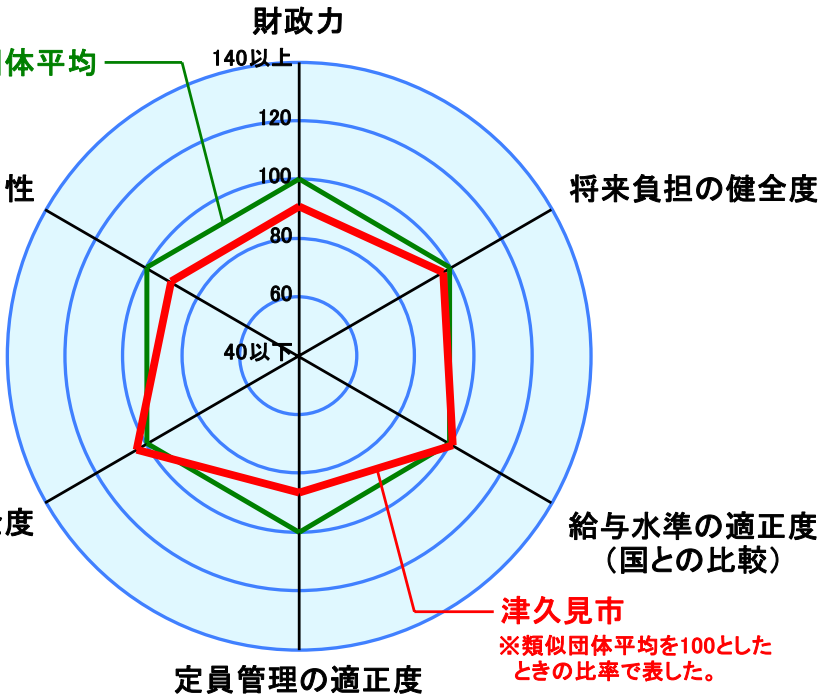
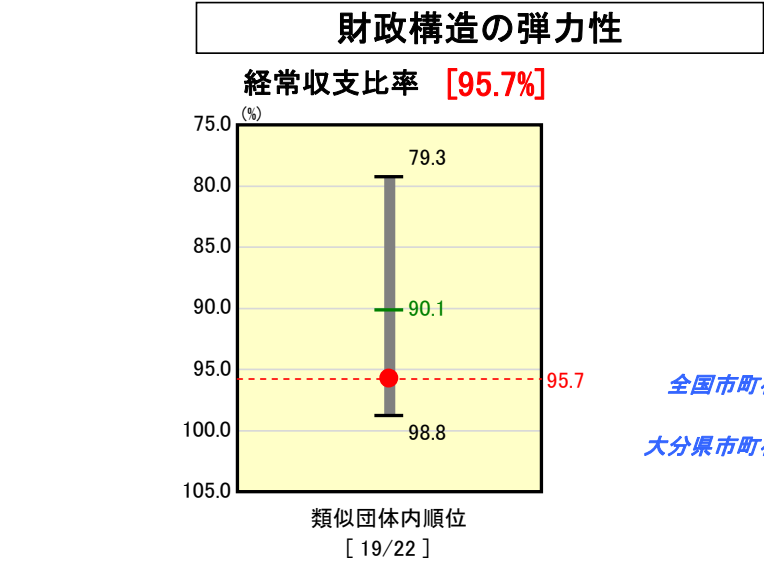
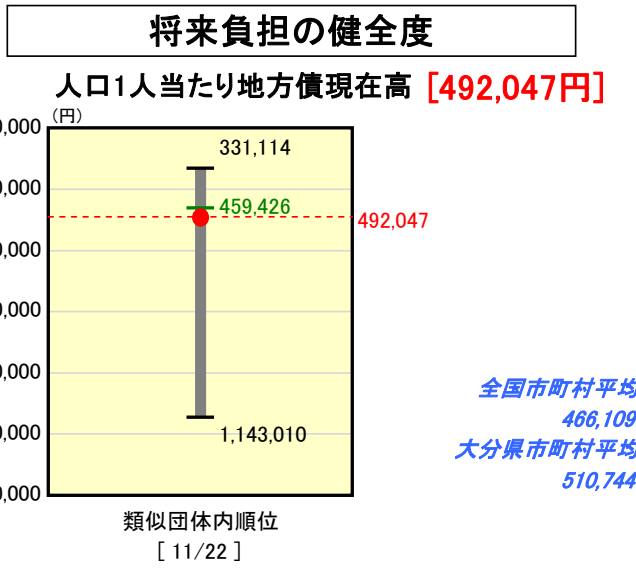
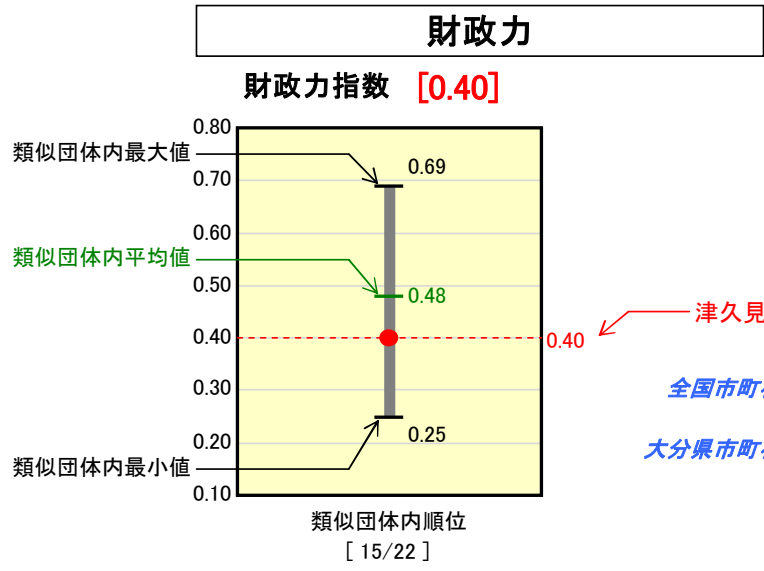


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 大分県 津久見市

人口	22,709人(H17.3.31現在)
面積	79.48 km <sup>2</sup>
歳入総額	9,918,801千円
歳出総額	9,837,805千円
実質収支	73,623千円



### 分析欄

**財政力指数**  
ここ3年間では増減はなく0.40となっている。人口の減少や全国平均を上回る高齢化率、離島・半島を抱えた地理的条件により類似団体平均を下回っている。長引く景気低迷により、市税収入は減少する中、徴収の強化に取り組み、職員の定数管理・給与の適正化等により義務的経費を削減し行政の効率化に努め、持続的な財政体質の健全化を図る。

**経常収支比率**  
前年度に比べ2.3%悪化している。少子・高齢化対策等に伴い扶助費は増加しているが、平成16年10月より職員給与の5%カットと管理職手当の減額などにより人件費、借入れの抑制や平成11年度から3年間実施した市債の繰上償還などにより公債費等の削減に努め、経常経費全体としては減少している。しかし、景気の低迷により市税や、普通交付税の見直しなどにより収入が大きく減少している。市税の徴収強化等の収入確保とともに、人件費の削減をはじめ、公共施設・事務事業・補助金の見直し等、さらなる行財政改革の推進を図り改善に努める。

**起債制限比率**  
借入れの抑制や平成11年度から3年間実施した市債の繰上償還などにより、平成11年度から5年連続で減少しており、類似団体平均を下回っている。今後とも、地域の自立や活性化につながる基盤整備や生活関連社会資本整備など、緊急度・住民ニーズに応じた事業を選択し、市債に依存しない財政運営に努める。

**人口1人当たり地方債現在高**  
類似団体平均をやや上回っている。平成7年度開始の区画整理事業による借入残高は増加しているが、全体的には、借入れの抑制などにより減少している。今後とも、地域の事情に即した適切な事業を選択し、後世への住民負担の軽減に努める。

**ラスパイレス指数**  
給与の適正化については、平成11年度以降から特動手当の廃止等各種手当の見直しを段階的に行なってきました。特に平成16年10月に策定した「津久見市緊急行財政改革実行計画」に基づく職員の給与カット(5%)の実施により、ラスパイレス指数は類似団体の中では平均を下回っている。

**人口1,000人当たり職員数**  
平成16年10月に策定した「津久見市緊急行財政改革実行計画」に基づき、公共施設の指定管理者制度の導入や業務のアウトソーシング(外部委託)を進めることにより、平成16年度から平成20年度までの5年間で、職員全体の20%(65人)程度の削減を目標として、計画的な削減を進めるとともに、事務事業や組織機構の大幅な見直しと併せた職員の再配置を行ないます。